



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 奥岡 克仁

問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 吉川 和秀 (TEL) 0568-74-1006

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月8日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	72,648	△4.1	7,867	△14.2	7,900	△14.4	5,376	△15.2
2025年3月期中間期	75,761	13.9	9,164	51.2	9,223	51.9	6,340	60.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 7,482百万円（83.6％） 2025年3月期中間期 4,076百万円（△36.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	80.48	—
2025年3月期中間期	94.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	212,709	141,238	66.4
2025年3月期	210,867	136,521	64.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 141,238百万円 2025年3月期 136,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	38.00	—	42.00	80.00
2026年3月期	—	32.00			
2026年3月期（予想）			—	35.00	67.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	151,000	△3.0	16,600	△12.7	16,600	△13.4	11,200	△17.2

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	67,909,449株	2025年3月期	67,909,449株
2026年3月期中間期	1,091,520株	2025年3月期	1,108,117株
2026年3月期中間期	66,808,371株	2025年3月期中間期	66,769,219株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2025年11月14日に機関投資家・アナリスト向け説明会をWEBにて開催予定であります。説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. その他	10
〔生産、受注及び販売の状況〕	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

① 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学リスクの高まりとともに、各国の政策動向による景気への影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況が継続いたしました。半導体市場では、データセンターなど生成A I関連への投資は堅調に推移したものの、本格的な回復は来期以降と予想されております。また、二次電池市場においても、B E V関連の設備投資は鈍化の動きがみられました。

海外においては、中国は、半導体市場において国内需要の増加に加えて、半導体や半導体製造装置の国産化の動きはさらに加速し、堅調に推移いたしました。米国は、データセンター投資の増加などA I関連向けの半導体需要に牽引され、中長期的な成長が継続していくと見込まれております。

このような状況の下で、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高72,648百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益7,867百万円（前年同期比14.2%減）、経常利益7,900百万円（前年同期比14.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益5,376百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

② セグメント別の状況

<自動機械部門>

利益率の向上を図るために強化してまいりました包装サービス事業の売上高は増加いたしました。国内におけるジェネリック医薬品の安定供給に向けた投資は一巡し、薬品包装機の売上高は減少いたしました。また、日系自動車メーカーのB E V向け車載用電池への設備投資に慎重な動きがみられ、リチウムイオン電池製造システムの売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は8,893百万円（前年同期比33.6%減）、セグメント利益は2,126百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

<機器部門>

国内市場では、グローバルにおいて旺盛な生成A I関連の半導体需要を背景に、半導体製造装置向け売上高が底堅く推移いたしました。

海外市場では、中国における半導体及び半導体製造装置の国産化の加速、並びに台湾における半導体関連の旺盛な投資などにより、東アジア地域で堅調に推移いたしました。また、A S E A N地域においても、半導体関連市場の重要な拠点であるシンガポールで売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は63,754百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は8,219百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,842百万円増加の212,709百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が1,108百万円、有形固定資産が1,622百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が2,127百万円、仕掛品が779百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が1,854百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,874百万円減少の71,471百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が874百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が829百万円それぞれ増加したものの、未払法人税等が2,023百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が2,415百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,716百万円増加の141,238百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増加の66.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ1,915百万円増加の36,260百万円となりました。

当中間連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、7,429百万円（前年同期比8.7%増）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益7,932百万円、減価償却費3,358百万円による資金の増加、法人税等の支払額4,239百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、1,677百万円（前年同期比61.4%減）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,034百万円、有形固定資産の取得による支出1,199百万円による資金の減少、定期預金の払戻による収入741百万円による資金の増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、4,114百万円（前年同期比39.2%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出556百万円、配当金の支払額2,801百万円による資金の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の見通しは、地政学リスクの高まりや金利・為替の変動に加え、各国の政策動向などにより不透明な状況が継続しております。一方で、当社グループは、機器商品の一層の需要拡大を見据え、国内外に生産体制を強化してまいりました。期初予想では、半導体関連機器の需要が下期から拡大することを予想しておりましたが、足元では需要回復の動きが緩やかであり、本格的な回復は2026年度以降になると見込んでおります。

これらを踏まえ、2025年5月13日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり下方修正いたします。

なお、通期の想定為替レートは、1米ドル145円から変更しておりません。

2026年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 156,000	百万円 19,000	百万円 19,000	百万円 13,100
今回修正予想（B）	151,000	16,600	16,600	11,200
増減額（B－A）	△5,000	△2,400	△2,400	△1,900
増減率（％）	△3.2	△12.6	△12.6	△14.5
（参考）前期実績 （2025年3月期）	155,634	19,018	19,167	13,520

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（2025年11月14日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,333	37,460
受取手形、売掛金及び契約資産	30,621	29,513
電子記録債権	14,157	13,838
営業未収入金	207	179
商品及び製品	10,959	11,309
仕掛品	3,987	4,766
原材料及び貯蔵品	34,390	34,135
その他	1,851	1,879
貸倒引当金	△35	△36
流動資産合計	131,473	133,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,325	33,486
その他（純額）	28,233	27,449
有形固定資産合計	62,558	60,935
無形固定資産	1,461	1,427
投資その他の資産	15,372	17,299
固定資産合計	79,393	79,663
資産合計	210,867	212,709

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,010	12,884
電子記録債務	3,307	3,882
短期借入金	5,513	5,008
1年内返済予定の長期借入金	1,138	1,173
未払法人税等	4,335	2,312
賞与引当金	413	3,129
その他の引当金	602	581
その他	12,661	7,837
流動負債合計	39,983	36,810
固定負債		
長期借入金	28,137	27,572
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	579	571
その他	5,642	6,515
固定負債合計	34,362	34,661
負債合計	74,345	71,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	16,695	16,723
利益剰余金	97,633	100,204
自己株式	△780	△768
株主資本合計	124,564	127,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,490	4,755
為替換算調整勘定	7,023	7,918
退職給付に係る調整累計額	1,442	1,388
その他の包括利益累計額合計	11,956	14,062
純資産合計	136,521	141,238
負債純資産合計	210,867	212,709

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	75,761	72,648
売上原価	53,721	51,458
売上総利益	22,040	21,189
販売費及び一般管理費	12,875	13,322
営業利益	9,164	7,867
営業外収益		
受取利息	54	55
受取配当金	162	155
デリバティブ評価益	49	21
その他	295	225
営業外収益合計	561	458
営業外費用		
支払利息	288	257
為替差損	71	83
その他	142	84
営業外費用合計	502	425
経常利益	9,223	7,900
特別利益		
退職給付制度終了益	-	32
特別利益合計	-	32
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前中間純利益	9,223	7,932
法人税、住民税及び事業税	2,917	2,271
法人税等調整額	△33	284
法人税等合計	2,883	2,556
中間純利益	6,340	5,376
親会社株主に帰属する中間純利益	6,340	5,376

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	6,340	5,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,864	1,264
為替換算調整勘定	△374	895
退職給付に係る調整額	△25	△54
その他の包括利益合計	△2,264	2,106
中間包括利益	4,076	7,482
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,076	7,482

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,223	7,932
減価償却費	3,182	3,358
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,848	2,707
未払賞与の増減額 (△は減少)	△2,422	△2,719
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△81	△129
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△9,256	1,837
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,320	△666
仕入債務の増減額 (△は減少)	771	1,256
前受金の増減額 (△は減少)	△2,608	142
その他	1,735	△2,014
小計	7,713	11,706
利息及び配当金の受取額	222	214
利息の支払額	△289	△256
法人税等の支払額	△818	△4,239
法人税等の還付額	0	0
補助金の受取額	5	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,834	7,429
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900	△1,034
定期預金の払戻による収入	399	741
有形固定資産の取得による支出	△3,803	△1,199
無形固定資産の取得による支出	△50	△172
投資有価証券の取得による支出	△6	△8
その他	14	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,347	△1,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,839	-
短期借入金の返済による支出	△2,839	△2,824
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△418	2,311
長期借入金の返済による支出	△559	△556
配当金の支払額	△1,734	△2,801
リース債務の返済による支出	△243	△242
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,956	△4,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△216	277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△685	1,915
現金及び現金同等物の期首残高	27,740	34,344
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,054	36,260

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,386	62,375	75,761	—	75,761
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	110	110	△110	—
計	13,386	62,485	75,872	△110	75,761
セグメント利益	2,925	8,576	11,501	△2,336	9,164

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,336百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,352百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス㈱に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,893	63,754	72,648	—	72,648
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	34	34	△34	—
計	8,893	63,789	72,683	△34	72,648
セグメント利益	2,126	8,219	10,345	△2,478	7,867

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,478百万円には、セグメント間取引消去17百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,495百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス㈱に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同期比 (%)
自動機械部門	9,398	△19.0
機 器 部 門	64,722	+6.2
合 計	74,121	+2.2

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
自動機械部門	10,059	△16.3	18,039	△4.2

(注) 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。

(3) 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
自動機械部門	8,893	△33.6
機 器 部 門	63,754	+2.2
合 計	72,648	△4.1

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。